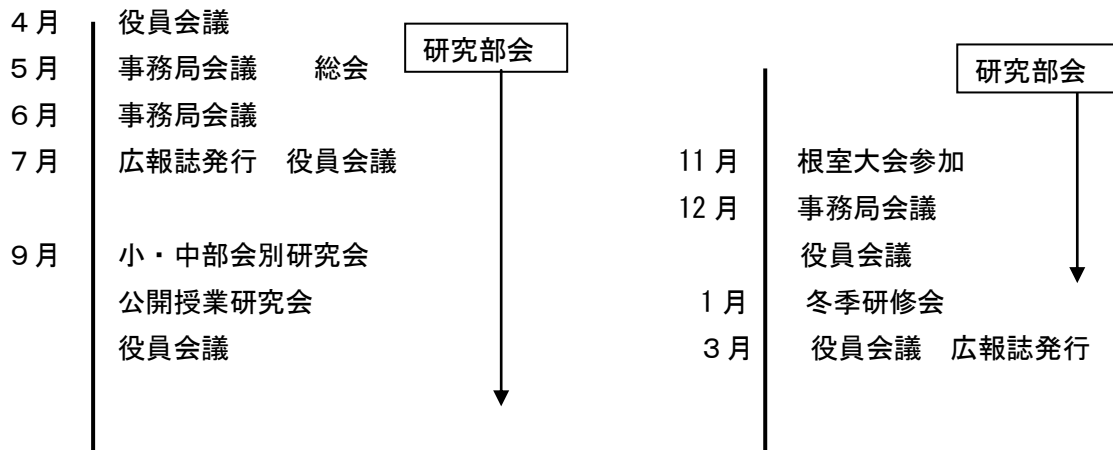


釧路地方社会科教育研究会

～地区活動だより～

1 平成23年度の活動報告

(1) 活動報告



(2) 今年度の成果と課題

- 3か年継続研究の2年次目として、これまで当地区で積み上げてきた研究成果とつながりや、今年度の課題等について協議を重ねることができた。研究内容の継続性を踏まえ、授業研究を通して課題解決を図る取り組みを大事にしていくことを再確認できた。
- 学習指導要領の趣旨を生かした授業構築を図ることはもとより、基礎学力の定着・向上をねらいに据えた授業実践を試行してきた。今後も価値ある地域の人材や地域素材を発掘し、教師の指導力の向上を図ると共に子供にとって魅力ある授業の実践に努めたい。
- 例年「冬季研修会」においては、会員の社会科教育にかかわる視野を広めることをねらいとして「講演会」を実施している。今年度は、学習指導要領にもかかわる「博物館の活用」について学芸員を講師に迎え、「教科書だけでは学べない釧路を知るいくつかの方法」と題して講演をいただいた。資料収集にご支援いただけることはもとより、博物館の奥深さを知る良い機会となった。

2 次年度の計画

- ・小学校、中学校各部会において授業研究を重ね、継続研究テーマの具現化にむけて実践・検証していく。
- ・地域教材の開発と授業技術の向上に向け、他機関との連携を図り、実践的な研究を推進する。
- ・全道大会（札幌大会）に多数参加できる体制づくりを図る。